

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
広汎性発達障害・ADHDの原因究明と効果的発達支援・治療法の開発 —分子遺伝・脳画像を中心とするアプローチ—	山本賢司	精神科学	150万	補:厚生科学研究費
自殺企図の再発防止に対する複合的ケースマネジメントの効果—多施設共同による無作為化比較試験	宮岡等	精神科学	260万	生科学研究費

精神神経科計 2件

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
マウス前立腺癌に対するIL-12遺伝子治療と放射線併用療法における抗腫瘍効果検討	藤田哲夫	泌尿器科学	120万	補 北里大学 医学部
膀胱癌における浸潤能、薬剤耐性能獲得へのミトコンドリアDNAの役割に関する検討	松本和将	泌尿器科学	143万	補 北里大学 医学部 委
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	馬場志郎	泌尿器科学	100万	補 北里大学 医学部 委
腎移植におけるプロテオーム解析による急性・慢性拒絶反応り低侵襲診断技術の確立	吉田一成	泌尿器科学	180万	補 北里大学 医学部 委
プロテオミクスの手法を用いた腎細胞癌新規腫瘍マーカー蛋白の検索	岩村正嗣	泌尿器科学	110万	補 北里大学 医学部 委
OAB併存BPHIに対する薬物効果の検討	松本和将	泌尿器科学	100万	補 北里大学 医学部 委

泌尿器科計 6件

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第1-1)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
ヒト頭部皮膚由来毛包細胞の分離培養と抹消神経、脊髄損傷部の再生態の確認	天羽 康之	皮膚科	120万	補 文部科学省 委
ヒト皮膚毛包幹細胞を用いた抹消神経・脊髄損傷の修復と再生	天羽 康之	皮膚科	900万	補 文部科学省 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委

皮膚科計 2件

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
網羅的16SrDNA多型性解析による潰瘍性大腸炎原因菌の同定：病変局所からの検索	岡安 勲	病院病理部	90万	補 日本学術振興機構
潰瘍性大腸炎関連癌での細胞接着因子の発現とDNAメチル化：浸潤能獲得機序の解明	三上 哲夫	病院病理部	273万	補 文部科学省
神経内分泌腫瘍としての特性を持つ肺がん（小細胞癌を除く）の標準的治療法の確立に関する研究	蔣 世旭	病院病理部	120万	補 厚生労働省
間質微細環境変化からみたp53非依存性炎症性発癌の解明及び発癌予測システムの構築	吉田 功	病院病理部	130万	補 文部科学省
胆汁遠心上清からのk-ras・p53変異検出による胆嚢上皮超早期癌病変の同定	柳澤 信之	病院病理部	110万	補 文部科学省
カザフスタン位線量慢性被爆患者の肺癌発生：ゲノム不安定性亢進関与の証明	原 敦子	病院病理部	160万	補 日本学術振興会
噴門部胃癌の発癌特異性：粘膜リモデリングと間質細胞における遺伝子異常の関与の証明	一戸 昌明	病院病理部	100万	補 文部科学省

病院病理部計 7件

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
関節リウマチ・骨粗鬆症の重症化防止治療開発研究	廣畑 俊成	膠原病感染内科	500万	補 厚生労働省委
免疫疾患の既存治療法の評価とその合併症に関する研究	廣畑 俊成	膠原病感染内科	120万	補 厚生労働省委
特発性好酸球増多症候群の実態調査	廣畑 俊成	膠原病感染内科	100万	補 委: 東京都福祉保健局
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	遠藤 平仁	膠原病感染内科	110万	補 厚生労働省委
免疫疾患の既存治療法の評価とその合併症に関する研究	田中 住明	膠原病感染内科	50万	補 厚生労働省委
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	岡田 純	膠原病感染内科	140万	補 厚生労働省委

膠原病感染内科計 6件

総合計 51件

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Colorectal Disease	Tumor budding at invasive margins and outcome in colorectal cancer	H. Kanazawa	外科
Anticancer Research	Surgical Resection of Stage IV Gastric Cancer and Prognosis	Keishi Yamashita	外科
World Journal of Surgery	Transfusion Alert for Patients with Curable Cancer	Keishi Yamashita	外科
Hepato-Gastroenterology	Results of Follow-up Endoscopy in Patients who Underwent Proximal Gastrectomy with Jejunal Interposition for Gastric Cancer	Shiro Kikuchi	外科
Surg Today	Gastrointestinal Stromal Tumor fo the Rectum Resected by Laparoscopic Surgery: Report of a Case	Takatoshi Nakamura	外科
Hepato-Gastroenterology	Comparison Between the Oncologic Outcome of Laparoscopic Surgery and Open Surgery for T1 and T2 Rectosigmoidal and Rectal Carcinoma: Matched Case-control Study	Takatoshi Nakamura	外科

外科小計 6件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepato-Gastroenterology	Irinotecan and S-1 Neoadjuvant Chemoradiation Therapy in Patients with Advanced Rectal Cancer	Takeo Sato	外科
Int J. Radiation Oncology Biol. Phys.	Phase I Trial of Neoadjuvant Preoperative Chemotherapy with S-1 and Irinotecan Plus Radiation in Patients with Locally Advanced Rectal Cancer	Takeo Sato	外科
British Journal of Cancer	Identification of the high-risk group for metastasis of gastric cancer cases by vascular endothelial growth factor receptor-1 overexpression in peripheral blood	Y Kosaka	外科
International Journal of Oncology	Clinical significance of the loss of MATS1 mRNA expression in colorectal cancer	Yoshimasa Kosaka	外科
Hepato-Gastroenterology	Clinicopathologic Features of Crohn's Disease with Free Intestinal Perforation	Youichiro Hattori	外科
日本大腸肛門病学会雑誌	腹腔鏡下に手術しえた腸重積で発症した肺癌肉腫小腸転移の1例	小野里航	外科

外科小計 6件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本消化器外科学会雑誌	腸重積で発症した回腸リンパ管腫の1例	小野里航	外科
World J. Surg.	Lymph node metastasis density and growth pattern as independent prognostic factors in advanced esophageal squamous cell carcinoma	Ooki A	外科
Anticancer Res.	Surgical resection of stage IV gastric cancer and prognosis	Yamashita K	外科

外科小計 3件

外科合計 15件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery	Thermal coronary angiography in pediatric coronary artery bypass grafting.	宮本隆司	心臓血管外科
Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery	Miniaturized cardiopulmonary bypass system in neonates and small infants.	宮地 鑑	心臓血管外科
日本冠疾患学会雑誌	心室中隔穿孔に対する手術の工夫：二重パッチ閉鎖法と経右室アプローチについて	鳥井晋造	心臓血管外科
日本冠疾患学会雑誌	急性心筋梗塞の機械的合併症に対する急性期外科治療	小原邦義	心臓血管外科
JOURNAL OF THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY	Pediatric cardiac surgery without homologous blood transfusion, using a miniaturized bypass system in infants with lower body weight	宮地 鑑	心臓血管外科
日本小児循環器学会雑誌	低充填量生体適合性人工心肺導入によるNorwood型手術成績の向上	宮地 鑑	心臓血管外科
日本周産期・新生児医学会雑誌	超低出生体重児の動脈管開存症に対して胸腔鏡下閉鎖術を施行した1例 本法最軽量児の治療経験	宮地 鑑	心臓血管外科
胸部外科	MVR後に発生した心室中隔穿孔に対する経右房的修復術	小原邦義	心臓血管外科

心臓血管外科計 8件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。